

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成28年度第2回和泉市公共施設等総合管理計画策定委員会
開催日時	平成28年6月14日（火） 午前9時30分から 午前11時15分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 4階 中集会室
出席者	（委員） 辻壽一委員長 田中晃代副委員長 中塚雅也委員 吉弘憲介委員 佐近由佳委員 宮崎豊委員 藤原明委員 （事務局） 山本総務部長 黒木市長公室理事 土本総務管財室長 山本財産管理担当課長 中埜総括主査 株式会社ニュージェック 三輪、青木、細川、平林
会議の議題	和泉市公共施設等総合管理計画（案）の検討について ① 公共施設等の現況、将来の見通し及び課題について ② 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針について
会議の要旨	1. 開会 2. 資料確認、コンサルティング業者 株式会社ニュージェック紹介 3. 質問・意見等への回答について 4. 和泉市公共施設等総合管理計画案の検討について ①公共施設等の現況、将来の見通し及び課題について ②公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針について 5. その他、今後のスケジュールについて（事務局） 6. 閉会
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：1人 ・ 議事録の公開：有り

	審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)
事務局	<p>第2回和泉市公共施設等総合管理計画策定委員会を開催する。 本日議事に入るまでの間、私総務管財室の山本が司会を務めさせていただく。 本委員会は和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則第10条及び13条の規定に基づき、本日の会議は会議を公開して進行すること、並びに、会議録を作成する必要から録音をさせていただくことを予めご了承願う。また、会議録作成後は、録音内容を消去する。 まず、資料確認を願う。</p> <p>(資料確認)</p> <p>続いて、本日は公共施設等総合管理計画の策定支援として、コンサルティングを行っております、株式会社ニュージェックの担当者が出席しているので紹介する。 株式会社ニュージェックは、公共施設等総合計画の策定について、コンサルティング委託事業者として情報収集や資料作成、分析を担当している。 今後も、本委員会に出席させていただく。 それでは、このあとは、和泉市公共施設等総合管理計画策定委員会規則第6条の規定により、辻委員長に議長として会議の進行をお任せする。</p>
委員長	<p>議事に入る前に、和泉市公共施設等総合管理計画策定委員会規則第6条第2項の規定により、会議の開催要件である、委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進める。</p> <p>また、議事録について、第1回目の委員会にて、事務局にて要点記録の議事録を作成し、委員長の私が確認するという方法で、委員の皆様にご了承をいただいたので、前回の委員会の議事録について、事務局の作成した議事録案を事前に確認し、特に相違なしということを確認していることを報告する。</p> <p>内容については、事務局から各委員に送付されているということなので、確認願う。本日の進め方は、前半は、前回、事務局から説明があった、計画の第1章「公共施設等の現況、将来の見通し及び課題について」、各委員からの意見等をふまえた案を事務局から説明の後に、議論・意見をいただく。</p> <p>続いて、後半で、計画の第2章「公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本的な方針」の素案について、事務局から説明するという流れで進めていきたい。「和泉市公共施設等総合管理計画(案)の検討について」ということで、「①公共施設等の現況、将来の見通し及び課題について」、事務局から説明願う</p>
事務局	資料1、2について説明。
委員長	これについて何か質問等ないか。 (質問等があれば、事務局で説明)
委員	将来人口推計について、30年後には7割近い高齢者の増加が見込まれているが、高齢化率としては32.2%であり、将来の全国平均に比べれば和泉市は低い水準にある。ただし、実数としては1万人以上の高齢者の増加があり、これに現行の市の施設、サービス水準で対応できるのかが課題となるのではないか。これをわかるように記載すべきである。
事務局	ご指摘のとおり、全国的にみると和泉市の高齢化率は低い水準に留まる推計となっている。高齢者人口が大幅に増加することで公共施設等に対するニーズの変化への対応が必要という視点を入れるように見直す。

委員	人口推計は市の人口ビジョンの上位推計を記載しているが、上位推計と下位推計では65歳以上の人口はあまり変わらないが、15歳未満の若年人口の推移が大きく異なる。和泉市全体の人口は昨年まで増えていたが、子どもは平成22年から減少してきている。一部の地域では確かに子どもが非常に増えているが大部分の地域では少子化の現象が顕著に現れているといった状況である。上位推計だけではこういった状況はわからないので、わかるように再検討を願う。
委員長	上位推計ではH47から若年人口が増加していることに違和感がある。生産年齢人口が減っているのに若年人口が増加しているのはなぜか。
事務局	人口推計は和泉市人口ビジョンの上位推計を用いている。 上位推計は国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンにおいて示された合計特殊出生率（平成32年：1.6、平成42年：1.8、平成52年：2.07）を用いているため、若年人口は増加している。
委員長	全ての予測の前提となるので、目標と考えている上位推計の人口を本計画に用いていいのか。 国立社会保障・人口問題研究所の推計では生産年齢人口も若年人口も確実に減少している。人口が減少する中で若年人口が増えるというのはいらないのか。
委員	上位推計の出生率の設定には無理がある。下位推計を用いるのが現実的ではないか。
委員長	現状で公共施設のうち、小中学校が占める面積が多いという課題がある中で、将来的に若年人口が増える推計でいいのか。子供が増えていくのであれば学校はこのままでいいという意見が出てくるのは当然である。
委員	人口推計は需要予測の要であり、現実的な数値を用いて行うべきである。 またプランに応じてその結果を変えろというのはいらない。現実的な数字で市民に理解を得るべきと考える。
委員長	難しい問題ではあるが、一番リスクのある数字を前提に検討すべきである。
委員	若年人口が上位と下位では平成52年では1万人程度変わってくる。教育委員会ではこれを踏まえて学校教育の適正配置を同時に進めていくため、整合性を図る上では上位と下位を併記する等、配慮頂きたい。
事務局	将来人口について、今回の意見を踏まえ事務局で再検討する。
委員	地区別の将来人口は今回示されていないが、今後示されるのか。
事務局	3章の施設類型ごとの基本方針もしくは4章の最適配置の基本方針で示す予定である。
委員	学校の1人当たり延べ床面積について、大阪府市町村データ集での和泉市の値はどうなっているのか。
事務局	データ集は決算統計を利用したもので実数値と若干乖離がある。データ集での和泉市の値は208千㎡と、実数値の212千㎡から若干小さくなっている。

委員長	<p>この比較は実際の就学者数ではなく15歳未満の人数を用いているため正確なものではなく、目安と考えるべき。私は公共施設の最適化を考える目的は子どもたちへ最高の教育環境を作ることが一番大きな目的で、そのために最適化を図りそれにより生み出された資金でいかに教育環境を整えていくかが大きな課題であると考えている。</p> <p>統廃合という言葉は、二つあるものを一つにしなさいといった乱暴な意味であると誤解しないでいただきたい。</p> <p>私が考える統廃合は、子どもが快適に勉強ができ、教員が思う存分教育できる環境をどうして作るかである。</p> <p>そのために将来の子供の数は正確に捉えるべきである。</p>
委員	<p>学校の空き教室の状況や市営住宅の空き家数等、施設の利用状況は把握できているか。また、施設の更新費用について30年に1回の大規模改修としているが、建築された年代によって工法や素材が異なり、耐用年数も変わってくる。最近の傾向は、建物はできるだけ長く持たせ補修していくことが基本だと考えているので、時代ごとの工法や素材が良くなっている中で、その部分は考慮しているか。</p>
事務局	<p>施設の利用状況については現在収集中であり、今後示す予定である。更新費用の推計は機械的な計算であり、実際に費用を算出するにはより詳細な診断を行う必要がある。全ての施設で詳細な診断を行うには多大な費用が必要なことから、今後個別に更新や統廃合を計画する際に診断を行い、実際の費用を算出することを考えている。</p>
委員	<p>計画の中で何点か他市との比較が出てくるが、それぞれの項目には適正な数値はあるか。他市との比較に捕らわれると方向性を間違ってしまうのではないか。</p>
委員長	<p>他市も今後施設を削減する方針であり、他市の現状と比較してもあまり意味がない。和泉市にとってどのくらいの面積が適正なのかが大事である。</p>
事務局	<p>人口が同じでも都市構造が違えば適正な面積も変わってくる。和泉市ではどのくらいの面積が適正なのか等を今後議論していければと考える。</p>
委員長	<p>「②公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針について」説明を願う。</p>
事務局	<p>資料3について説明。</p>
委員	<p>P F I の推進が記載されているが、最近では P F I が下火で、かなり V F M も低下傾向にある。やった方がよいものはもちろんやるべきだが、やることが至上命題になるといったように無理にやる必要はないのではないか。</p>
事務局	<p>自治体において P F I 事業は曲がり角にきている。P F I 法のしぼりがある中、意思決定に時間がかかり、そこでコストが嵩んでしまう。ただ、リース方式であればそういった問題もクリアできる部分があるのではないかということから検討したいと考えている。事務局では今年、P P P ・ P F I 協会のセミナーへ参加する予定である。その結果もあわせ、今後うまく活用できないか検討したい。</p>
委員	<p>P F I 事業について、京都の方で様々な機能を合築した例があるが、施設間</p>

委員	<p>での行き来ができず使い勝手が悪くなった事例があるため、留意が必要。また、民間活用では施設の十分な点検・保全が実施されるか懸念される。和泉市は地域毎に年齢構成にバラつきがあり、現状でも施設が足らずに困っている地域もあると思う。そういった場所を把握してこういう新しいPPPやPFIの事業を活用しながら施設を導入していくことが重要であり、施設が足らずに困っている地域においてニーズを把握することで戦略的に考えることができるのではと考えている。</p> <p>計画期間30年間は長期であるため、10年ごとなど、具体的な見直しのサイクルを記載できないか。また、全体的な印象であるが、量的・客観的な数値に基づく記載が多いが、施設によっては、特に小学校では主観的な問題が色々あると思うので、質的な評価、歴史的な評価といったものを踏まえた上で、維持等を考えていくという視点を基本的な方針にどこか加えることはできないか。</p> <p>そういったことを地域づくりのプロセス、例えば施設のあり方を地域で話し合う際に、選択できる情報をきっちり伝えていくということを整備の方針として加えることができればよい。</p>
事務局	<p>ご意見を踏まえ、検討していく。</p>
委員長	<p>4点ほど意見がある。</p> <p>まず基本方針の位置づけについて、最も重要な「施設の総量最適化」を1番目にするべきである。</p> <p>2点目は2ページの取り組み体制と取組体制と情報管理・共有方策において「市職員の意識向上」は市政内部の話であり、計画に記載する内容ではない。</p> <p>3点目は1ページの「社会情勢の変化を踏まえた施設の総量最適化」は、受け身的な表現であり、また総量という数が問題なのではない。例えば「和泉市の未来を作る施設の最適化」としてはどうか。</p> <p>4点目は7ページ「廃止後の跡地等の売却」について、跡地を有効に活用するという事は重要だが、跡地を民間に売却した場合、跡地が何に利用されるかが重要であり、街並みを乱すようなものが出来る可能性もある。市民のために、また市民に理解されるように利用するという取組みが重要である。</p>
委員長	<p>1ページの公共施設等の管理に関する基本方針の順番について最初に「適正な維持管理による長寿命化」がくるのはいかがか。</p> <p>「施設の総量最適化」という言葉は、市民に対して誤解を生じさせる表現である。面積は0でも他の形でサービスを提供できれば問題はない。総量の問題ではない。どういった仕組みが和泉市の未来にとって良いのかが大事である。</p>
委員	<p>総量の最適化という記載を見るだけで、これから施設を潰していくのだという印象を持ってしまう。他の言葉が見えなくなってしまう。</p>
委員	<p>「廃止後の跡地等の売却」については行政と市民との協働ということで、売却等はできるだけ早い段階で市民に情報提供し、議論ができる土壌を作るという記載が必要である。</p>
委員	<p>新設の禁止と記載があるが、どのレベルまでを新設と捉えるか。例えば施設を潰した跡地に公園を作ることも新設か。</p>
事務局	<p>ここでの「新設」とは、現状ある施設とは関係なく、全くの新規で設置することを指している。この計画は総量を抑制しコストを削減することであるた</p>

	<p>めこのような記載になっている。ただ、指摘のとおり、施設にこだわらず必要なニーズに基づいて公共サービスを提供することが重要であると考えますので、記載の仕方は再検討する。</p>
<p>委員長</p>	<p>総量を減らすのは問題ないが、ただ基本方針のタイトルにしてしまうのは違うのではないか。目的は和泉市の未来を作ることであり、その為に総量の縮減がある。そこで捻出したお金で本当に必要な施設を作り変えていく。その為の資金をどうやって作っていくのかがこの委員会の方向性を決める大事なポイントと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>「将来の需要に基づいた最適化」といった表現も考えられる。</p>
<p>委員長</p>	<p>未来を作るとか、次の世代に引き継ぐといった言葉を選ぶべきで、「施設の総量最適化」という言葉で市民が心を閉ざしてしまったら意味がないと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見を踏まえ、検討していく。</p>
<p>委員長</p>	<p>最後に次第の2 その他ということでは何かあるか。 ないようなので、事務局何かあるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>配布している「質問・意見シート」については後日、メールで送付させていただくので、記入のうえ、提出いただきたい。 次回の開催は7月12日（火）9：30～ 同じ場所となる。</p>
<p>委員長</p>	<p>その他に何かあるか。 これで第2回和泉市公共施設等総合管理計画策定委員会を終了する。</p>